

# 農福連携等プラス推進モデル事業における取組事例（奈良県・奈良市）

## 農業以外の連携先（プラス）

障がい福祉事業所、地元自治会、観光業

## 実施事業所・連携事業所

くれよんの里、認定NPO法人きららの木

## 事業の応募のきっかけ（地域が抱える課題）

全国的にみられる中山間地区の高齢化に伴う働き手不足により、担い手不在の田畑や耕作放棄地を、農業を主として生活の糧とし地域に根差し暮らしていきたいと思っている障がい者の方が、高齢者の方に代わり田畑の維持管理ができるようになれば、放置されるままとなる田畑の増加を少しでも抑制することができるのではと考えその懸け橋になればと思いました。

大変な重労働である耕作放棄地の再耕作地化、その後の田畑の維持管理等を大型農業機械の導入により安全で飛躍的に作業効率を上げることができる。作業効率を上げることにより障がい者の方のスキルアップ、工賃や将来的な収入へと結びつけられると考える。

休耕地を再耕作地化する過程で他の事業所と連携することにより、将来的な担い手へのアプローチや、農作業を体験してもらうことによる観光的な要素にもなり、結果地域の活性化を見込めるのではないかと考える。



## 事業内容

- ・コーディネーターの取り組みにより、地元自治会、地元住民、他事業所の利用者の方との顔つなぎ。
- ・他事業所と連携をとり、障がい者の方たちが農作物の収穫体験、農作物の育成体験を行うことができた。
- ・農業指導により、利用者の方の農作業の手順の効率化、商品の品質向上。
- ・SNS等を活用し、新規販路の拡充。
- ・観光、防犯、地域価値向上のため耕作放棄地及び担い手不在の田畑の情報収集及びマッチング。
- ・耕作放棄地や後継者不在の田畑を導入した機械を使用し、収入の見込める農地へと再耕作地化。

## 大型農業機械お披露目会



## 耕作放棄地除草作業



## 事業実施後の効果

- ・コーディネーターのマッチングにより、地元住民、地元自治会、他事業所との顔つなぎができ、耕作放棄地や担い手不在の田畑の維持管理を任せただけようになった。
- ・特に耕作放棄地に関しては、周辺住民の方が草刈り等の管理を行っており、無理のない範囲とは言えかなりの負担となっていたが、大型農業機械導入により一日程度で他の田畑同様に整備でき、大変喜んでいただいた。
- ・面識のあまりなかった周辺住民の方が、他事業所の障がい者の方たちと作業をしている様子を見に来られ、栽培している野菜の育て方や食べ方を教えてもらった。
- ・再耕作地化の整備の様子を見た地元の方から、担い手不在の田畑の管理を任せたいと打診があった。